

連絡先: 〒732-0052 広島市東区光町2-9-24-303 全労連・全国一般 広島合同労働組合 TEL 082-568-5835  
FAX 082-568-5845 Mail:rouso@hgoudou.com 参照URL:http://ww1.tiki.ne.jp/~okakenro/aroshi.htm

## いのちとくらしの危機を守る創意的とりくみを 講演とパネル討論、分科会—中四国から97人

第16回中四国ブロックセミナーは、6月28-29日松江市の島根県民会館で開かれ、28日はリアル参加73人、オンライン21人、合わせて94人が参加。



島根県実行委員会眞木高之委員長（県民医連会長）が「今、いのちと暮らしの危機の中、企業や富裕層、軍事が優先されている。参院選はいのちと暮らし、平和を守る絶好のチャンス、創意的取り組みでその実現をめざそう」と挨拶しました。



挨拶する眞木  
実行委員長

### 講演

### 「安心して働くために、

### ハラスメントのない職場づくりを」 一田村 明彦氏一

続いて九州社会医学研究所の田村明彦さん（いのちと健康全国センター副理事長、医師）が講演。職場での「いじめ・嫌がらせ」の相談が急増し、労災申請も増え続けている。パワハラは「被害が見えにくい」「被害者の恥辱など」の特徴があり、うつ状態やPTSDなどを起こす。厚労省の調査では8割超の労働者が「強い不安、悩み、ストレスがある」と回答。ILOは「仕事の世界における暴力とハラスメント除去に関する条約」を包括的に定めて、使用者に厳格な措置を義務付けている。日本では労働施策推進法で「カスハラ」「就活セクハラ防止」等を義務化した。が、「業務上必要かつ相当な範囲を超えたもの」とILO条約より限定的でハラスメントを禁止していない。ILO条約の批准と国内法整備を求める労働組合の運動が大切と話しました。



安心して働けられる  
医療現場を  
発言…岡上則子  
さん 高知自治労連  
職場のハラスメント  
ラインで報告受けて



安心して働けられる  
保育園現場から  
発言…中石浩美さん  
広島自治労連  
余裕のなさが話し合えな  
い、お互いを認め合えな  
いで、離職していく



教職員の現場から  
発言…濱田里美さん  
香川県教職員組合  
トイレにもいけない  
い、睡眠不足、給食  
は十分等業務が過多  
介護職場を変えていき  
発言…佐々木広樹さ  
ん 松江保健生協  
「若いから」と上司、利  
用者・家族からの威圧

☆パネルディスカッション☆  
エッセンシャルワーカーにみる  
職場の課題、ハラスメント  
によせて考える

## パネルディスカッションでの報告と討論



いのちと健康高知センターの岡村和彦さんがコーディネーターを務め、教育、医療、介護、保育職場での職場の課題、ハラスメント等について報告がされました。(1面) これについての質問、意見などが次々に出されて、討論しました。仲間と話し合い、労働組合を強くして、不条理、不平等を一つ一つ解決していくことが大切ではないかとの方向となりました。

## 過労死裁判支援の訴え

広島私立高校非正規教員だった故後河内麻季先生が不条理な人事通達を受け自死した事件について、民事裁判でその実態を明らかにする闘いへの支援を遺族らが訴えました。



### 第1分科会



労働安全衛生活動の基礎  
講師…門田勇人さん  
いのちと健康広島センター

### 第2分科会



メンタルの現状と課題  
講師…荒川ゆかりさん  
スクールカウンセラー

### 第3分科会



職場の問題事例を通して、みんなで解決策を検討!  
報告と討論

### 第4分科会



長時間過密労働 変形労働  
裁量労働の是正対策を  
報告と討論

## 働くもののいのちと健康をまもる中四国ブロックセミナーの経緯と運営

### 一、ブロックセミナーの経緯 (2026年は高知県で開催予定)

1. いのちと健康をまもる全国センターは、安全衛生活動の教訓、経験の交流や活動家の養成などをめざし、1999年以降「働くもののいのちと健康を守るセミナー」として日本の東西で、05年からは各ブロック別で開催。中国ブロックでは05年から中国5県で開催されてきました。
2. 08年全国センターは、ブロックセミナーの発展、地方センターの確立の目標を方針に追加し、ブロックとして中四国を区分。この区分によることや幅広い経験や教訓などを得るために中四国ブロックとして開催し、2009年第1回高知、10年香川、11年山口、12年愛媛、13年広島、14年岡山、15年山陰、16年高知、17年徳島、18年香川、19年山口、20年(コロナ感染で中止)、21年愛媛、22年広島、23年岡山、24年鳥取、25年島根での開催となりました。

### 二、ブロックセミナー実行委員会の運営

こうした経緯を踏まえ、運営は各県代表者による実行委員会の協議により、現地実行委員会で作業をすすめる体制としています。実行委員会は①セミナーの準備、②セミナーの発展、③各県の活動の交流、④地方センターの確立を位置づけて運営することをめざしています。